

JAB MS306:2013 第1版 (D4) に対するパブリックコメント及び処置

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	JAB MS 技術委員会対応 (凡例 : 採用、 : 修正等、 × : 不採用)
1	KHK-ISO Center	附属書 1 審査工数の削減 図 1		T	図 1 の削減率が、統合レベルが 20% の場合で、統合審査を実行する能力が 20% の場合は 5% となっているのに、統合審査を実行する能力が 20% 超えた場合は 0% となっており矛盾している。	次の対応が必要である。 統合レベルが 20% で総合審査を実行する能力が 20% を超える場合の削減率を 0% から 5% と変更する。	: ご意見のとおり、IAF MD11 原文に矛盾があるので、IAF に意図を確認のうえ、別途、本文書の発行通知にて、ご案内する。
2	一般財団法人 日本科学技術 連盟	附属書 1 審査工数の削減 図 1		G	縦軸の統合レベル(以下「縦」と横軸の統合審査を実行する能力(以下「横」)の関係において、縦軸が 20% の際は、横軸が 20% の時のみ削減率 5% であり、それ以外が 0% であるのに対し、横軸が 20% の際は縦軸が 20% 以上の時はいずれも削減率 5% と関係性に矛盾がみられる。	縦横いずれかが 20% 以下の際は、削減率は 0% ではないか。	コメント#1 への回答を参照。
3	JQA	附属書 1 図 1		Q	図の中で、縦 20 対横 20 は 5% 削減可能となっている。 しかし、縦 20 で横 40 以降は、0% 削減となっている意図は何か？	統合レベルが 20% であるならば、統合審査を実行する能力のレベルにかかわらず、工数削減ゼロとするのか論理一貫する。	コメント#1 への回答を参照。
4	MSA	2.1.5.1	全文	T	統合審査の工数削減について単一の	下記注釈を入れるか別途通達する。	: ご意見の点を含め、IAF MD5 との関連等、補足の解説が

注：コメント区分には、必ず「G(全般に関するコメント)」、「T(技術的コメント)」、「E(編集上のコメント)」又は「Q(質問)」の区分をご記入ください。

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	JAB MS 技術委員会対応 (凡例 : 採用、 : 修正等、 × : 不採用)
	藤井信二	及び 附属書 1			システムの削減限界-30% (JAB MS 305 3.9) との関連性が記述されていないので誤解が生じる。	工数出発点 T の最小値を Tmin とすると $T_{min} = (A + B + C)_{min} = a \times 70\% + b \times 70\% + c \times 70\% = (a + b + c) \times 70\%$ 統合審査工数の下限値 = $T_{min} \times 80\% = (a + b + c) \times 56\%$ a、b、c : 工数低減しない各システムの審査工数	必要と考えられる事項について、これを整理したうえで、別途、通知等にてご案内する。
5	MSA 藤井信二	附属書 1 図 1	全文	T	図 1 統合レベル 20%軸において、統合審査を実行する能力 20%の削減は 5%となっているが、40、60、80、100%の削減は 0%となっている。統合審査を実行する能力が大きくなると削減率が小さくなっており、矛盾している。	IAF MD11 ANNEX 自体が左記のようになっており、IAF に確認をする。	コメント#1 への回答を参照。

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」、「E (編集上のコメント)」又は「Q (質問)」の区分をご記入ください。